

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月6日 (2018.12.6)

【公表番号】特表2016-540798(P2016-540798A)

【公表日】平成28年12月28日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-540038(P2016-540038)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/24 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/28 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 31/135 (2006.01)

A 6 1 K 31/136 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/24

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 9/28

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 31/136

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年10月26日 (2018.10.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 1】

好ましい実施形態において、第 1 の薬理活性成分 (A₁) はオピオイドであり、第 2 の薬理活性成分 (A₂) は別の鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えば N S A I D または C O X - 2 - インヒビターである。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 3】

なお別の好ましい実施形態において、第 1 の薬理活性成分 (A₁) は鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えば N S A I D または C O X - 2 - インヒビターであ

り、第2の薬理活性成分（ A_2 ）はオピオイドである。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0095

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0095】

この実施形態によると、好ましくは、第1の薬理活性成分（ A_1 ）はオピオイドであり、更なる薬理活性成分（ A_f ）は別の鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターである。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0097

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0097】

なお更に、この実施形態によると、好ましくは、第1の薬理活性成分（ A_1 ）は鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターであり、更なる薬理活性成分（ A_f ）はオピオイドである。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0099

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0099】

この実施形態によると、第2の薬理活性成分（ A_2 ）はオピオイドであり、更なる薬理活性成分（ A_f ）は別の鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターである。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0101

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0101】

なお更に、この実施形態によると、好ましくは、第2の薬理活性成分（ A_2 ）は鎮痛薬であるが、好ましくはオピオイドではなく、例えばNSAIDまたはCOX-2-インヒビターであり、更なる薬理活性成分（ A_f ）はオピオイドである。